プロジェクト目標

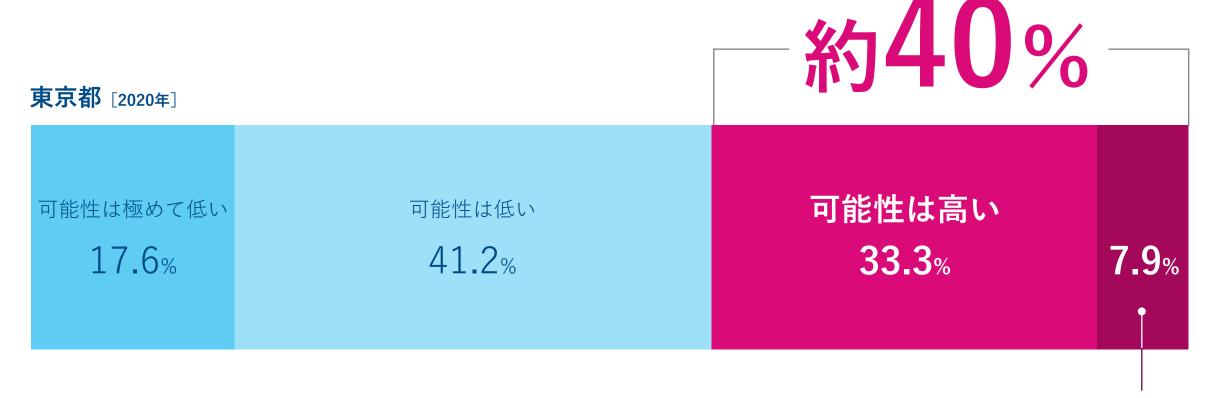
2025年: 40% → 20%

Bq:ベクレル

Sv:シーベルト

現在の放射線被ばくで、

次世代以降の人(将来生まれてくる自分の子や孫など)への健康影響が 福島県民の方々にどのくらい起こると思いますか



可能性は非常に高い

現在の放射線被ばくで、 将来生まれてくる自分の子や孫などへの健康影響が どれくらい起こると思いますか

福島県 [2018年]

対象:平成23年に避難区域等に指定された13市町村※

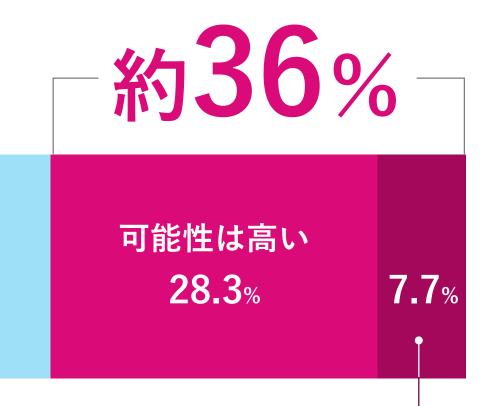
※広野町、楢葉町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部(特定避難勧奨地点に属する区域)

可能性は極めて低い

19.3%

可能性は低い

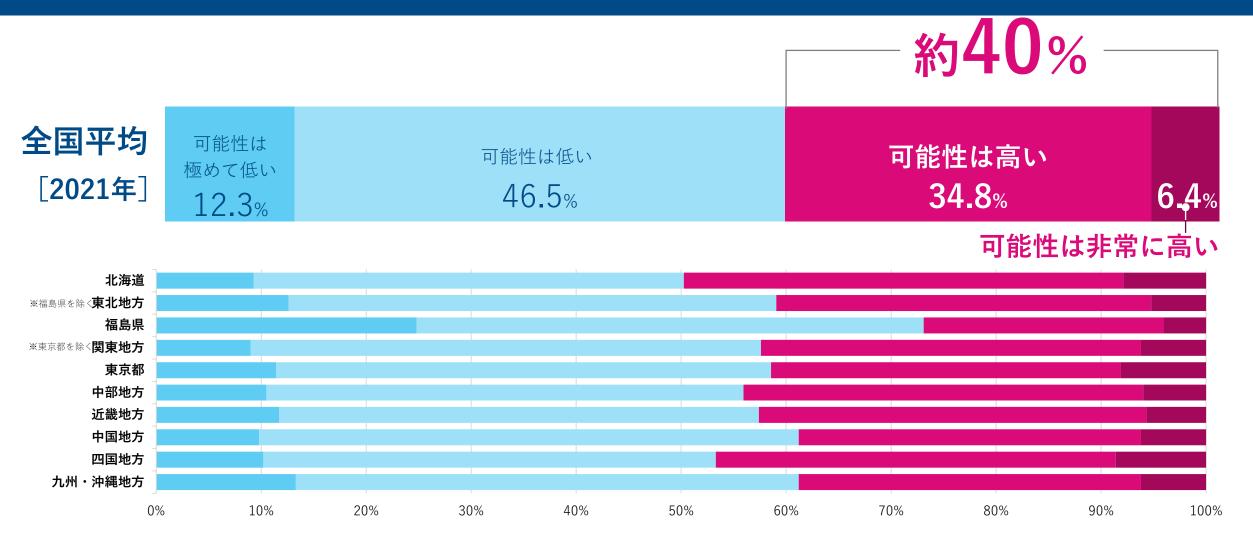
44.8%



可能性は非常に高い

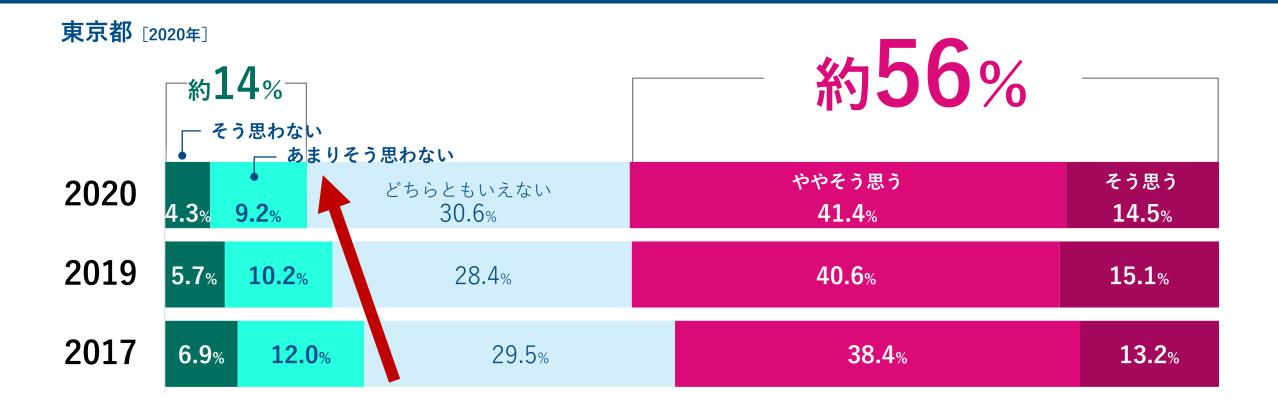
出典:福島県「県民健康調査|平成30年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査|結果報告

現在の放射線被ばくで、 次世代以降の人への健康影響が 福島県民の方々にどのくらい起こると思いますか



出典:環境省令和2年度放射線の健康影響に関する情報発信の実施業務 アンケート調査(2021年3月)

原発事故から年月が経過し、 自身の震災に対する意識や関心が薄れていると思いますか



SUSTAINABLE GENALS















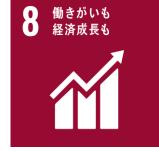
































5つの事業について

① 知る

論文を科学的に読み解く

科学的な知見を正しく読み解く力を育みます。

② 学ぶ

ラジエーションカレッジ

各地に学びの場をつくり、その成果を発表してい きます。

③ 決める

情報提供と意思決定

生きていくうえで自ら大切な判断をするための 情報を提供していきます。

④ 聴く

不安と疑問によりそう

放射線に関する相談ができる仕組みを充実します。

⑤ 調べる

公式ホームページ

放射線の健康影響に関する不安や疑問の解決方法を探すことができる辞書機能をつくります。







学び、知をつむぐ

人、町、組織をつなぐ

自分ごととしてつたわる

放射線に関する

誤解·偏見·差別

国内に目を向けると

風評はなぜ広がるのか?

薄れる関心・情報の固定化

情報アップデートで

「判断するチカラ」を!